

機関名: (地独)北海道立総合研究機構水産研究本部

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年10月～12月	ブリ(最大80トン/日、後志北部)が豊漁。ヒラメ(2.2トン前年同月3倍、檜山北部)が豊漁。スルメイカ(69トン前年同月の10倍、渡島西部)が豊漁。ホッケ(3.3トン平年の1割弱、檜山北部)が不漁。ヒラメ(檜山北部・後志北部)が不漁。アンコウ(檜山北部)が不漁。イカ(726トン5カ年で最低、奥尻)が不漁。	水温:10月が平年より1～3℃高く、11～12月も1～2℃高かった(日本海沿岸)。暖海性のムラサキダコ(奥尻)・アマモンガラ(後志北部)・ソルギエチオピア(留萌北部)	特になし	特になし

機関名: (地独)青森県産業技術センター水産総合研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 秋田県水産振興センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年10月～12月	・11月の定線観測では、表面水温が12定点中9定点で、平年を1.6～4.1℃上回り、「かなり高い」～「はなはだ高い」状態であった。 ・例年は10月下旬にハタハタ底びき網漁場が形成されている男鹿半島西岸海域に10月上旬から漁場が形成された。 ・男鹿半島北岸でのハタハタ定置網漁が不調だったのに対し、男鹿半島南岸での漁は好調に推移した。	・9月中旬～10月にかけての大型クラゲの出現数は全国の中でも特に多く、対馬暖流主流の特殊な蛇行のあり方によるものと考えられる。	特になし	特になし

機関名: 山形県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年10月～12月	スルメイカが12月に底びき網で多獲された(17.5トン)。	大型クラゲの底びき網、定置網などへの入網が特に10月に多く(最大30個/網)、操業への支障が出た。	サケの後期群の沿岸来遊量(海面+河川)が、7年ぶりに15万尾を超えた。(12月下旬現在、後期群16.2万尾)	特になし

機関名: 新潟県水産海洋研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年10月～12月	12月中旬以降に、佐渡両津湾大型定置網でスルメイカの水揚げ量(月計)が322トンと好漁(平年比4.002%)であった。同月のスルメイカ釣りも好漁で、水揚げ量(月計)は66トンと平年比1.847%であった。	特になし	特になし	特になし

機関名: 富山県農林水産総合技術センター水産研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 石川県水産総合センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年10月～12月	石川県主要10港定置網のブリ銘柄(4kg以上)の10～12月漁獲量は1,064トンで平年(10年平均:654トン)の163%と、1995年以降では2010年(1,113トン)に次ぐ好漁であった。 ・2000年頃から冬期に定置で漁獲されるようになったアカヤガラ年間漁獲量が3.7トンと過去10年平均の33倍となった。	・9月下旬から10月上旬にかけて七尾西湾と七尾南湾の一部において低酸素状態となり、底棲生物の斃死も見られた。その後徐々に溶存酸素量が増加したことから養殖カキへの影響は少なかった。	特になし	特になし

機関名: 福井県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年10月～12月	平成26年12月5日14:00頃、若狭湾の水深190mにおいて、本県底曳網漁船がウナギを捕獲。ウナギは活かしたまま増養殖研究所横須賀庁舎へ搬送、詳細な分析を実施中(耳石の同位体分析等)。TL(全長):668mm、BW(体重):492g、GW(生殖線重量):11.10g。10月10日にも水深140m地点でウナギが捕獲されたようです。	特になし	特になし	特になし

機関名: 京都府農林水産技術センター海洋センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年10月～12月	アカヤガラの漁獲量が27.6トン(10～11月計)で、平年の14.2倍であった。	12月にホシフグが定置網で大量(多い日には数トン/網)に混獲された。	特になし	台風26号(T1326)の通過に伴い、主として波浪による漁具・漁船の被害が発生した。

機関名: 兵庫県農林水産技術センター但馬水産技術センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 鳥取県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年10月～12月	【境港まき網】マイワシ(当歳魚主体)が10月6,600トン、11月4,700トン水揚げされ、秋季としては近年にない豊漁であった。(過去3年平均 10月1,500トン、11月950トン)	特になし	特になし	特になし

機関名: 鳥取県栽培漁業センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 鳥取県水産技術センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年10月～12月	10月の中型まき網によるマイワシ漁獲量は、西郷地区で平年の9倍、浦郷地区で平年の12倍であった。	特になし	特になし	特になし

機関名: 山口県水産研究センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成25年10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし